

主催 福祉芸術支援協会 (WASA)



後援 杉並区



ゲスト
兄ーズ

Village Seven

Normalization LIVE 2025 夏

～こどものみらいのために～

ヴィレッジセブンのライブ、今年は夏になりました。

ゲストはピアノデュオの兄ーズ。2022年の荻窪音楽祭、2023年V7とのジョイントライブでは圧倒的なパフォーマンスで会場をわかせました。今春晴れて医学生となった兄ーズの演奏にご期待ください。

V7もこどもたちの未来を応援するべく、おなじみの曲にオリジナル曲を交えた内容でお届けします。お楽しみに。

公演途中の入退場は自由ですので、ご自分のペースでご参加ください。

※感染拡大防止策へのご協力をお願いしています。(入場前の検温で37.5℃以上の方は入場できません)

2025.7.12 [SAT] 13:00 開場 13:30 開演

セッション杉並ホール (杉並区梅里 1-22-32) 定員 500名

入場料 大人 1000円

全席
指定

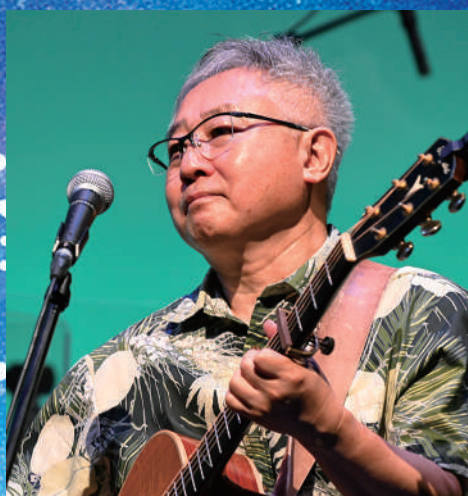
中学生以下は無料
(障害者と介助者は半額)

ご予約・お問い合わせは yoyaku@wasa.or.jp

兄ーズ(山下順一郎・山下宗一郎)

4人兄弟の双子の兄の「兄ーズ」。難病で重症心身障がい児の弟の影響から医師を目指し、2025年3月に2人揃って医学部現役合格。現在医大生ピアニストとして活動している。2歳から絶対音感トレーニングを経て4歳よりクラシックピアノを本格的に開始。今までに大阪国際音楽コンクール連弾部門優勝、ピティナ・ピアノコンペティション10部門で全国決勝大会に出場し、銀賞・銅賞など多数受賞。ショパンコンクール・インアジアにてアジア大会ファイナリスト、全日本学生音楽コンクールピアノ中学生部門東京大会入選などの成績を残す。小学生の頃より病院や児童発達支援センター、療育センター、保育園などでのボランティア演奏活動を実施しており、今までにコンクール成績と合わせ東京都教育委員会児童・生徒等表彰に2年連続選出された他、一般財団法人東京私立中学高等学校協会、東京都高等学校文化連盟より表彰される。2023年度ソニー音楽財団子ども音楽基金の採択団体に選出され、医療的ケアのある重症心身障がいをもつ子どもたちとご家族約1,700人にピアノの生演奏を届けた。現在ピアノを高田有莉子氏、フィンガートレーニングを山本光世氏に師事。海外では2023年にドイツハンブルグ市近郊のレリンゲン May Festival にて、2024年にはアメリカのカーネギーホールに招聘され、大盛況の館内はスタンディングオベーションに包まれた。2024年MBSお天気部夏のテーマ曲「空」を担当。





『ヴィレッジセブン』

2000年に杉並区内の障害者支援施設(区立・民間)にはたらく職員が集まり結成。施設のおまつりや地域のイベントにて、来場者も一体となって楽しめるライブ活動を続けています。みんなが知っている歌のメドレーなどのほか、施設や団体、街の様子などを歌ったオリジナル楽曲も多数あり、ライブDVD制作やネット配信などを行っています。

ホームページにて次のライブなどをお知らせしています。
(<http://village-7.com>)



From V7 to Everyone with love&peace